

「鳥取県職員」の仕事を知ろう！

土木と言っても
いろいろあるんだね！



鳥取県マスコットキャラクター
トリピー

vol.2 土木職

実際に働く職員のインタビューを通して、
鳥取県職員のお仕事をご紹介します。今回は土木職です！

土木職ってどんな仕事？

道路や橋、農業基盤などを計画・設計・施工管理し、安全で便利な暮らしを支える行政の土木職。地域の暮らしを守るとともに、実績が形に残るやりがいある仕事です。

地域の未来を描く道路づくりに携わる！



鳥取県土木整備事務所
道路都市課
令和5年度入庁 Aさん

仕事内容は？ 入庁1～2年目は、道路の補修・修繕など維持管理を担当していました。3年目となる今年は道路都市課に異動し、道路を新たに整備したり拡幅したりする計画の策定、設計書の作成、工事の発注、そして現場での立ち会いや業者との打合せといった監督業務に携わっています。現場で直接話し、道路が形になっていく様子を間近で見られる監督業務は、特にやりがいを感じる場面です。



台風による災害復旧の現場

土木職を志した理由は？ 生まれ育った鳥取で働きたいという思いが根底にあり、高校で学んだ土木の知識を生かせる県の土木職を志しました。県庁の土木職の魅力は、計画から設計、工事、そして維持管理まで一連の流れに関わることができる点。計画段階から関わった道路が完成していく過程を見られるのは、この仕事ならではの醍醐味です。令和5年の台風7号で被害を受けた佐治町では、孤立集落を解消するための応急対応に携わり、地域の方の暮らしを支えるという責任の重さと意義を強く感じました。現場で迅速に動く先輩の姿に、「自分もこうなりたい」と思ったことが今も心に残っています。



工事の進捗を業者に確認

県職員を目指す方へメッセージを 職場は明るく何でも相談しやすい雰囲気。入庁前は事務作業が中心だと思っていましたが、意外と現場に出る機会も多く、毎日が新鮮です。道路などの社会基盤は、県民の暮らしに欠かせないものです。インフラを通して鳥取県をもっと良くしたい、地域の未来を支える仕事が好き——そんな思いのある方にぴったりの仕事です。

鳥取で見つけた、自分の力を生かせる場所



西部総合事務所
農林局 地域整備課
令和4年度入庁 Bさん

仕事内容は？ ほ場整備や水路の補修、農道の改良など、いわゆる「農業土木」の仕事に携わっています。たとえば、出荷用トラックがすれ違えないほど狭い農道を拡幅したり、農家の方の要望を受けて給水栓を使いやすい位置に整備したりすることもあります。給水栓を設置したときには「昔は不便だったから助かるよ」と声をかけてもらい、地域の農業の力に なれている実感があり、とても嬉しかったです。



給水栓設置工事における測量業務

この仕事を選んだ理由は？ 私は県外出身ですが、大学生活を鳥取で過ごし、「鳥取は本当に住みやすい」と感じていました。農学部で学んだことを生かせる仕事したいと思い、県の農業土木職を志望しました。設計書作成などのデスクワークのほか、外に出て農家の方と直接お話ししたり、現場で状況を確認したりすることも多く、毎日が勉強です。わからないことは上司や先輩に丁寧に教えていただき、調整の仕方や工事の流れを一つずつ学んでいます。



PCで設計書を作成

職場の雰囲気や働き方は？ 職場は20人ほどで、同期も2人います。困っているときは先輩がすぐに声をかけてくれるなど、コミュニケーションがとれやすい雰囲気です。休暇も1時間単位で取得できたり、夏季休暇の取得を積極的に勧められます。最初は不安だと思いましたが、知識がなくても大丈夫。周りが優しく丁寧に教えてくれる環境があります。私も今後もっと知識を増やし、先輩に教えられるような職員になりたいと思っています。

県民の安心を守るため、河川と港を支える日々



西部総合事務所
米子県土整備局 河川砂防課
平成28年度入庁 Cさん

仕事内容は？ 現在は米子市・境港市・西伯郡にある県管理の河川や漁港で、災害を防ぐための改良事業などを担当しています。計画に沿って工事を発注し、現場では受注者と相談しながら品質を確保するための監督業務を行っています。説明が必要な場面では、地域の関係者や関係機関に丁寧に説明し、理解を得ながら事業を進めています。



PCで図面を確認

土木職を志した理由は？ 大学では土木・建築を学び、都市計画やまちづくりのゼミに所属していました。学んだ知識を生かし、インフラ整備に携わりたいと考えたことがきっかけです。働くなら地元で、という思いもあり県職員を選びました。これまで道路、河川、漁港と幅広い分野を経験してきましたが、中でも印象に残っているのは3年目、維持管理課で経験した豪雨被害です。地域の被害が拡大しないよう課の仲間と一丸となって応急対応にあたりました。状況が刻々と変わるなかでスピード感をもって判断する難しさを痛感し、責任の重さとやりがいを強く感じた出来事でした。



工事現場の監督業務

職場の雰囲気や働きやすさは？ 常に連携しながら業務に当たる、チームワークの良さが自慢の職場です。入庁前に思っていた以上に幅広い業務を担当するため大変さもありますが、日々新しい知識を吸収できるのがこの仕事の面白さだと感じています。土日祝は休みで有給も取りやすく、働く環境としても恵まれています。県民の皆さんの安心・安全を守るため、ぜひ一緒に働きましょう！

東京から地元へUターン“地図に残る仕事”に挑む！



中部総合事務所
県土整備局 道路都市課
令和7年度入庁 Dさん

仕事内容は？ 新設・既存を問わず県内の道路を整備する仕事を担当しています。これまで琴浦町にある橋の補修や道路を新設する工事に携わり、設計・積算・図面作成、発注の準備、業者との打合せ、町との協議などを行ってきました。東京の民間企業で監督業務をしていた経験があるので、業者側の視点も踏まえて仕事に臨めることが自分の強みだと感じています。



道路整備についての打合せ

県職員として働く魅力は？ 複数の工事を同時に進めるため責任は大きいですが、その分やりがいも大きいと感じています。民間企業では「利益を出して担当現場を終わらせる」という明確で短期的なゴールがありましたが、県は「県民が安全で快適に暮らすためのインフラをつくる」という、より長い視点での規模の大きな仕事になります。実際に働き始めて驚いたのは、思っていた以上に現場に出る機会が多いこと。そして残業が少なく、休日もしっかり取れる働きやすさです。先輩方は住民の声に丁寧に耳を傾け、技術も熟知していて非常に頼もしい存在。研修制度もしっかりしており、官公庁のCADソフトや積算システムにもスムーズに慣れることができました。



工事の進捗確認も大事な仕事

県職員を目指す方へメッセージを 地図に残る仕事に携われることは、大きな誇りです。自分が計画・設計・工事を担当した道路や橋が、これから長く県民の皆さんの暮らしを支え、次世代の子どもたちにも役立つと思うと、とても嬉しくなります。地元が好きで、地域のために働きたい方には特に向いている仕事です。ぜひ一緒に、鳥取の未来をつくっていきましょう！

問合せ先 **鳥取県人事委員会事務局**
TEL **0857-26-7552** 〒680-8570 鳥取市東町一丁目271番地

鳥取県職員の仕事をもっと知りたい方は、
鳥取県職員採用のホームページをご覧ください。

